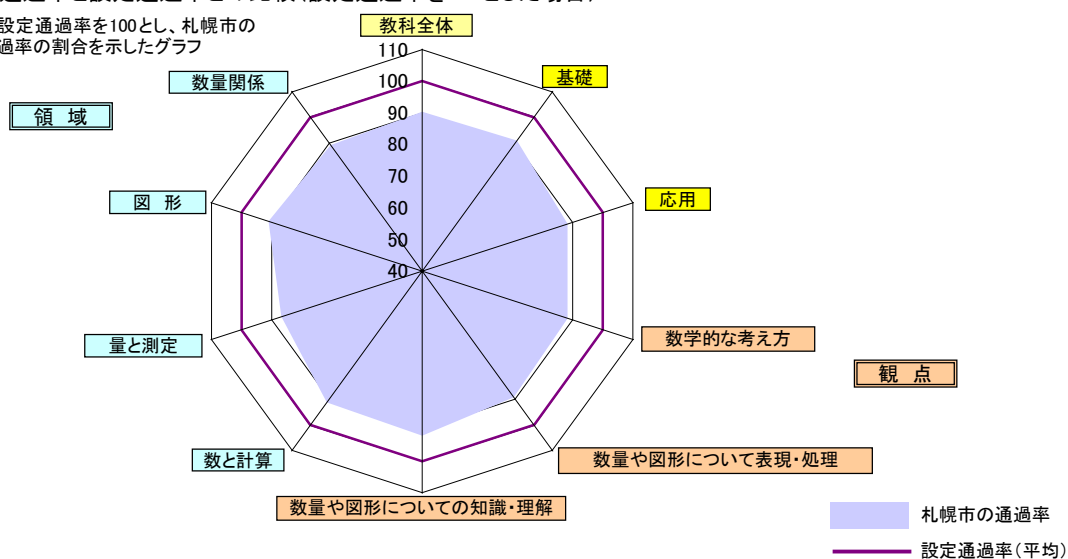


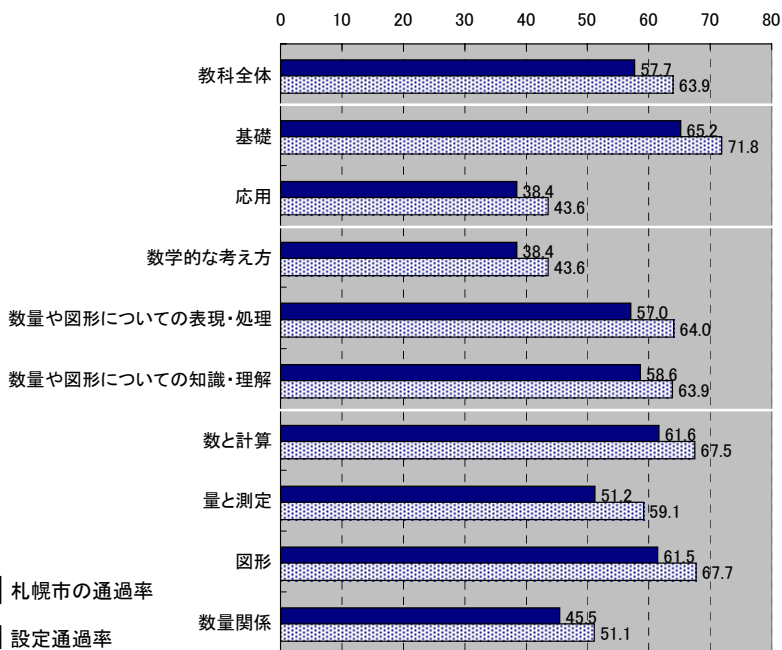
■通過率と設定通過率との比較(設定通過率を100とした場合)

※設定通過率を100とし、札幌市の通過率の割合を示したグラフ



■通過率と設定通過率との比較

項目	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)
教科全体	57.7	63.9
基礎	65.2	71.8
応用	38.4	43.6
数学的な考え方	38.4	43.6
数量や図形についての表現・処理	57.0	64.0
数量や図形についての知識・理解	58.6	63.9
数と計算	61.6	67.5
量と測定	51.2	59.1
図形	61.5	67.7
数量関係	45.5	51.1



【通過率】

- ・算数における札幌市の通過率は、観点、領域別等、全体として、設定通過率より5～8ポイント程度有意(±3ポイント)に下回っている。
- ・教科全体で見ると、設定通過率が63.9%であるのに対して、札幌市の通過率は57.7%であり、6.2ポイント有意に下回っている。
- ・基礎と応用で見ると、「基礎」は6.6ポイント、「応用」は5.2ポイント、いずれも設定通過率を有意に下回っている。
- ・観点別に見ると、いずれも設定通過率を5ポイント以上下回っており、特に「数量や図形についての表現・処理」は7.0ポイント下回っている。
- ・領域別に見ると、いずれも設定通過率を5ポイント以上下回っており、特に「量と測定」は7.9ポイント下回っている。
- ・算数は全体的に設定通過率を有意に下回っており、教科全体として指導の改善が必要である。特に、基礎と応用では「基礎」、観点では「数量や図形についての表現・処理」、領域では「量と測定」について、指導の充実を図ることが必要である。